

日本生物工学会は、産業や社会と密接に関係する産業バイオテクノロジーの学会として、産学連携や交流のあらたな場の提供と充実、産学の人材（若手）育成、産学のニーズの把握などを基本方針に活動を行っており、2012年度から、産学技術研究会や生物工学基礎教育セミナーといった新たな活動を実施しています。

1. 本部企画シンポジウム

産学連携の強化・活性化を図るべく、年次大会において本部企画シンポジウムを実施しております。生物工学会会員の基盤となる技術領域である1) 醸造、2) 培養・計測については最先端の研究・技術開発動向を、また3)産学連携に関する先駆的取組み事例等を産業界・及び学界の講師から報告・紹介いただいております。

⇒[詳しくはこちら](#)

2. 産学技術研究会

産業界の立場からの学会運営を活性化するまたは「ものづくり」技術の学へ浸透のために、実用化技術を中心にしたテーマで研究会を行います。

⇒[詳しくはこちら](#)

3. 教育活動

- [3-1. 生物工学基礎教育セミナー](#)
- [3-2. 産業界からの講師派遣の斡旋](#)
- [3-3. 賛助会員の工場見学案内情報](#)

【賛助会員の皆様へ】工場見学申込先リスト作成に関するお願い

産学連携委員会では、産業界、特に賛助会員の皆様方にご協力いただき、ホームページに賛助会員皆様の工場見学申し込み先リストを掲載したいと考えております。

工場見学に関わる掲載に同意いただける賛助会員様には、[こちらのフォーム](#)より貴社名、工場見学の内容や申込み先URL等をご登録ください。